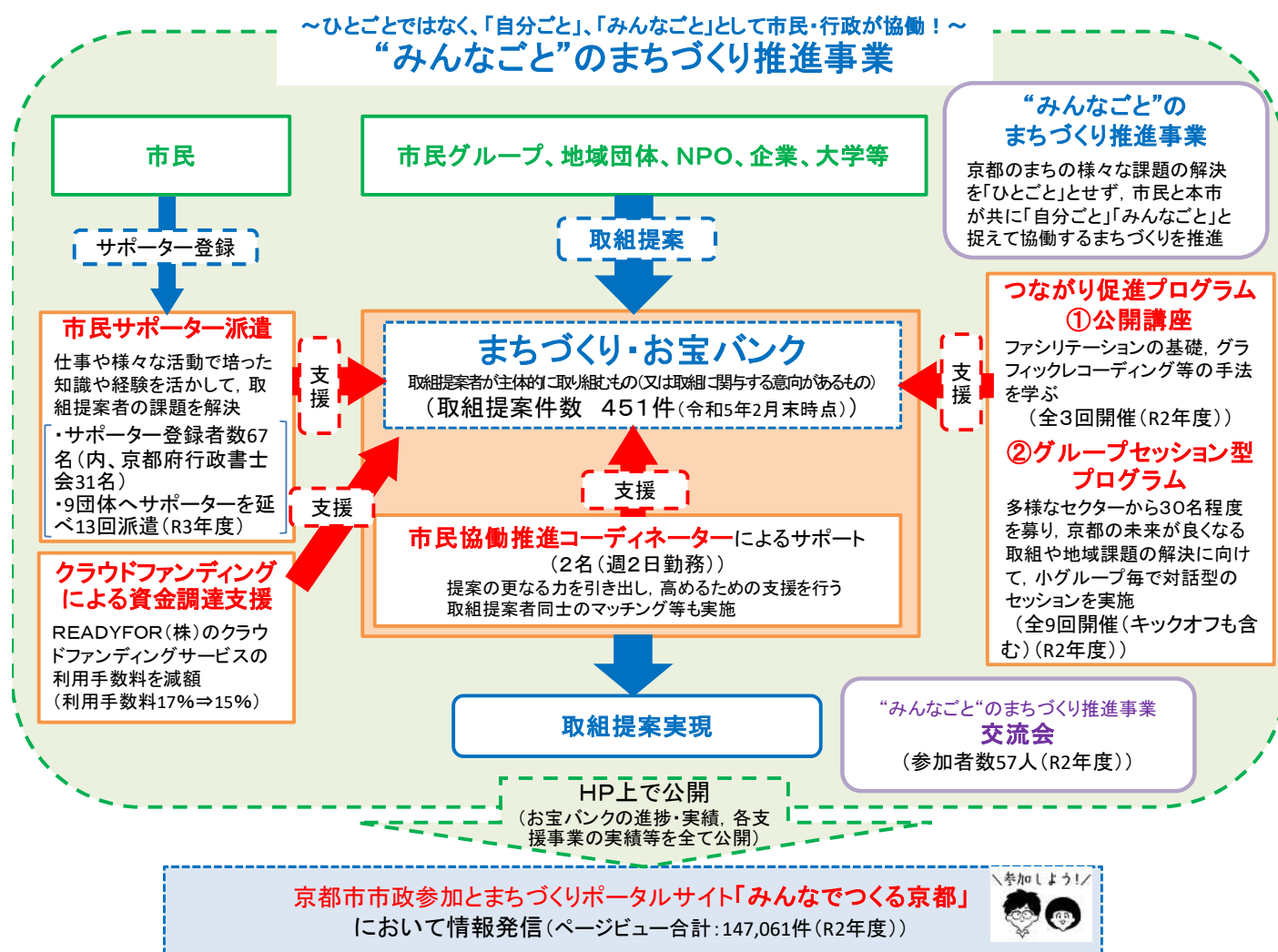


「まちづくり・お宝バンク」の取組提案 実績（令和4年度）

京都のまちの様々な課題の解決を「ひとごと」とせず、市民と本市が共に「自分ごと」、「みんなごと」と捉えて協働するまちづくりを推進するため、広く市民の皆様から、京都がもっとよくなる、もっと住みやすくなる、まちづくりの取組提案を募集し、「まちづくり・お宝バンク」に登録・公開するとともに、提案の実現や市政への反映に向け、多彩な市民力・地域力を活かした、きめ細かなサポートを行っている。

1 “みんなごと”のまちづくり推進事業について

(1) “みんなごと”のまちづくり推進事業の体系図



※「まちづくり・お宝バンク」の取組提案に対して、総合政策室に配置されている
 “市民協働推進コーディネーター”（2名（週2日勤務））が、取組提案者にヒアリングの
 うえ、提案の実現に向けて、関係団体、関係部署を繋げるなど、的確なコーディネートを行
 っている。

(2) 「お宝バンク」取組提案への対応状況

きめ細やかな対応

・“みんなごと”のまちづくり推進事業では、複数の取組がつながり合い、“みんなごと”として課題に取り組む活動が広がることを目指しており、提案者の活動内容を知るだけではなく、想いをしっかりと聞き、真に必要とされていること・目指す未来像等を把握することに全力を傾けてきた。

成果を見据えたメリハリのある対応

・大きな社会的課題の解決につながるものなどについては、本市のあらゆる部署に出向き、各部署の現状・課題・ニーズ等の把握を行い、取組提案者との連携が可能かどうかについても積極的に模索し、調整を図ってきた。

「お宝バンク」の仕組みを活かした、提案者同士による自発的連携

・「お宝バンク」取組提案がウェブサイト上で登録・公開されていることから、提案者同士の連携のなど、市民活動団体や企業等との自発的な連携が広がりつつある。

【コーディネート状況】

対応状況	R2 年度	R3 年度	R4 年度※
取組の具体化や、一緒に活動する連携先（行政や他の提案者等）の紹介などを行ったもの（（ ）内は具体的な成果があったもの）	306 (219)	341 (248)	358 (258)
連携の可能性がある団体を探したり、本市関連部署との協議を重ねるなど、提案の具体化に向けて検討しているもの（未コーディネート）	42	46	50
その他（提案者と連絡がつかないもの、実現困難なもの、営利のみを目的としているもの、アイディアの域を超えないもの）	44	43	43
計	392	430	451

※R 4 年度は 2 月末時点

【提案団体の属性】

属性	個人	市民グループ・地域団体	NPO	一般社団法人	企業関係	大学関係	その他（各種団体）	合 計
R4 年度	5 4	1 3 4	6 3	2 0	1 2 1	2 0	3 9	4 5 1

2 「お宝バンク」取組提案者の主な活動（令和4年度）

令和4年5月

SDGsや京都のまちを学ぶ機会をつくり、学生と地域社会が共創・共生するまちづくりをめざしたい！

取組提案者：学校法人大和学園京都ホテル観光ブライダル専門学校、杉田 博幸 氏

【取組提案団体以外に持続可能な形で広がった好事例】

3月に、大和学園のSDGsを学ぶ授業構築の一環で、京都市版SDGsボードゲームを使った教育活動を実施する杉田氏との連携により試行事業を実施。

その後、教員がボードゲームのファシリテーター資格を取得し、5月に京都西山高校で実際にボードゲームを用いてSDGsを学ぶ授業を行いました。



令和4年6月～

公園内に座ってくつろげる芝生空間をつくりたい

取組提案者：南部公園愛護協力会、松本 栄一

【取組提案団体同士が連携した好事例】

南部公園愛護協力会の「公園内に座ってくつろげる芝生空間をつくりたい」という思いに、プロサッカースタジアムに西洋芝を日本で初めて導入した実績等から「芝生の神様」と呼ばれる松本氏が深く共感。芝生育成の環境づくりと管理を助言し、誰もが座ってくつろげる空間を創出する「公園芝生プロジェクト」を着々と進めています。



令和4年7月

フィルム映像を活かしたまちの活性化

取組提案者：一般社団法人京都映画芸術文化研究所おもちゃ映画ミュージアム

京都市：SDGs・市民協働推進担当、市長公室広報担当、歴史資料館

【複数の関係者が連携した好事例】

昭和31年から平成6年頃まで京都市広報課が制作していた市政ニュースである「京都ニュース」の利活用のためのアーカイブ化が完了し、7月からホームページで公開するとともに、7月2日には、フィルム映像のデジタルアーカイブ構築・公開を記念し『「京都ニュースアーカイブ」公開記念シンポジウム～時代の光が未来を映す～』がオンライン開催され、一般に公開されました。



令和4年8月

京都の夏野菜体験



取組提案者: 特定非営利活動法人まなあそび、西喜商店

【取組提案団体同士が連携した好事例】

NPO 法人まなあそびが醍醐寺と連携して取り組んでいる「醍醐こども観光大使」のイベントで、同じく「まちづくり・お宝バンク」取組提案団体である西喜商店から講師を招き、京都の夏野菜について学ぶワークショップを開催。野菜当てクイズでは、実物の野菜が登場し、特徴や生産者について紹介するなど、知る・見る・触る・食べる等、感覚をフル活用して京都の野菜を深く知る機会を提供した。

通年

福祉ネイリストらによる訪問ハンド＆ネイルケア

取組提案者: ハンド＆ネイルケアボランティアチーム ガンチー
京都市岩倉地域包括支援センター

【取組提案団体同士が連携した好事例】

4月、宝が池公園で開催された「にこにこ・オレンジカフェ・いわくら」に参加。青空の下で行われた3学区合同のオレンジカフェにて、ネイル施術をしながら交流。岩倉農園倶楽部の活動をされる岩倉包括支援センターとの連携により実現。

その他にも、団体自らの動きにより、中京安全安心大会への参加（京都府警監修によるネイルシールを用いた啓発活動、10月）、中京区乾学区において中京書と連携した交通安全教室に参加（11月）これらの活動により健康長寿のまち・京都いきいきアワード2022大賞受賞、京都新聞の福祉奨励賞受賞。

